第1回科学技術情報整備審議会 平成23年12月1日

国立国会図書館における電子情報の整備に関する主な動き

国立国会図書館 電子情報部

1電子情報部の設置

- □ 電子情報に関する取組の強化
- □電子情報・システム関連の全体企画・調整を一元化
- □ 関西館のデジタルアーカイブ業務を除いたシステムの構築と運用 電子情報部

電子情報企画課

電子情報サービスの企画・調整など

電子情報流通課

メタデータ等、知識情報資源に係る各種のデータ形式や データ交換ルールの標準化など 電子情報サービス 課

業務・サービスシステムの開発

システム基盤課

システム基盤の構築とシステムの運用・保守

次世代システム開発研究室

新しい図書館サービスの実現の ための次世代システムに係る調査 研究・実証実験

2 所蔵資料のデジタル化状況

資料種別	所蔵数 (H22年度末) (A)	デジタル化実施済 ^{*1} (B)	デジタル化未実施 (A-B)	実施割合 (B/A)
古典籍	29万冊	7万冊	22万冊	1/4
和図書	427万冊	88万冊	339万冊	1/5
和雑誌	455万冊	101万冊	354万冊	1/5
博士論文	39万冊*2	14万冊	25万冊	1/3
合計	合計 950万冊		740万冊	1/5

*1:デジタル化実施済刊行年代は次のとおり。

【古典籍】江戸期以前

【和図書】明治期~1968年刊行

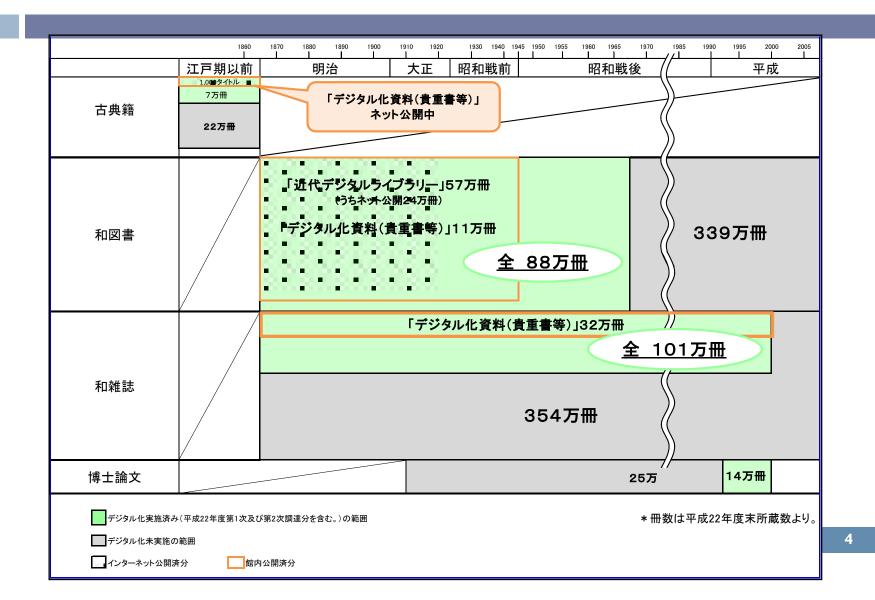
【和雑誌】明治期~2000年刊行(商業出版との調整タイトル等を除く。)

【博士論文】平成3(1991)年度~平成12(2000)年度受入れ

*2:平成21年度までの所蔵数から平成13(2001)年度~平成21(2009)年度整理数を除いた数。

(平成23年8月末までの実績)

② 所蔵資料のデジタル化状況



業務基盤システムによる平成24年1月からのサービス

□電子情報の利用を中心としたサービスへ

国立国会図書館サーチ(http://iss.ndl.go.jp/)によるナビゲーションの充実。NDLだけでなく他機関の蔵書、電子情報資源も併せて検索

□ 印刷物と電子情報の一体的利用を可能に 電子ジャーナル、e-Bookの書誌データをNDL-OPACに搭載

	簡易検索	詳細検索	雑誌記事	規格リボート類	占領関係	検索式	検索語一覧
□ デジタルサイネージ(電子看板)の	国家 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	たいて検索します。 も検索さます。占領限化	- 				テンプキーボード
来館利用サービスでは総合的な利用案内	を展	捐	(経性生) 検 案		所蔵場所 全貞]	×
イベント情報、広報等の充実	→ 国立国会国書ॉ末一丛	→ 国立国会图書館サ	Committee of the Commit	National Diet Library, Al	I Blakke Brassand		→ お問ご合わせ
			Copyright © 2012	Moderna Diet Clorary. Al	rogino reserveu.		

NDL-OPAC 国立国会図書館 出書検索・申込システム

利用者

他のネットワーク と相互補完して利 用者に届ける

外部Webサービ スとの連携 NDLが直接 利用者に届ける (独自の検索画面)

Google, Yahoo! 等

統合検索サービスを提供

統合検索 サービス の提供

連携機関のサービス

- ・公文書館・美術館
- ・博物館ネットワーク
- ・大学図書館ネットワーク
- ・商用DBサービス
- ・海外のデータベース

国立国会図書館サーチ

デジタルの 総合目録

紙資料の総合目録

レファレンス情報 の総合目録

研究開発機関

研究開発における連携

NDL デジタル アーカイブ 各機関 デジタル アーカイブ

NDL 蔵書目録

各図書館 蔵書目録

メタデータを集約

NDL レファレンス 各図書館 レファレンス

統合利用促進のため の環境整備

国立情報学研究所 (NII)





科学技術振興機構 (JST)



日本原子力研究開発 機構(JAEA)



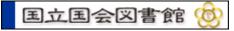


□ 国立国会図書館サーチ 開発版

202データベース



国立国会図書館





国立公文書館

美術館•博物館

公共図書館

国立大学·私立大学

人間文化研究機構

韓国国立中央図書館

国立国会図書館サーチの機能

- メタデータ連携と提供機能メタデータの収集・配信の標準APIを実装
- □ 検索支援機能 キーワードサジェスト、再検索キーワードの提示、絞り込み検索等 NII連想検索エンジン(GETAssoc)の利用、J-GLOBAL連携
- □ グループ化 同じ小説の単行書と文庫本を同一著作物としてグループ化、表示
- □ 外国語対応英語・中国語・韓国語の資料を日本語で検索し、日本語で表示
- 様々な用途に対応したGUIの提供 携帯電話・スマートフォン対応、障害者向け資料の検索機能、 子ども向けのGUIの開発等

4 国等のインターネット資料の収集状況

平成22年4月、国、地方公共団体、独立行政法人等のインターネット資料の許諾なしの収集を開始

- □提供方法
 - □「インターネット資料(ウェブサイト別)」 (http://warp.da.ndl.go.jp/)
 - □「インターネット資料(著作別)」 (http://dl.ndl.go.jp/#internet)

ウェブサイトに掲載された白書、年鑑、報告書、 広報誌、雑誌論文などを抽出して収録





4 国等のインターネット資料の収集状況

□ウェブサイト別の収集状況

	国の機関	都道府 県	政令指 定都市	市町村	法人• 機構	国公立 大学	私立大 学
収集頻 度	年12回			年4回			年1回
収集 タイトル	61 件	47 件	20件	3,227件	218 件	53	1件

□著作別の整備状況

- ■計 89,281件(うちインターネット提供:73,219件)
- 内訳: 国の機関約25,100件、地方公共団体約61,500件など

(平成23年10月末現在)

⑤オンライン出版物収集の制度化

インターネット等で提供される民間の電子書籍、電子雑誌等の国立国会図書館法に基づく納入義務化を検討中。

- □運用の想定ー収集
 - □収集方法
 - 発行者による送信
 - 発行者による記録媒体の送付
 - ■当館による収集ロボット等による収集
 - □送信・送付に要する費用の支払い

⑤オンライン出版物収集の制度化

- □運用の想定一収集対象資料
 - □商用出版物
 - ■電子書籍、電子雑誌(新たに編集過程(オーサリング)を 経たもの、過去の出版物を電子化するものを含む)(当館 閲覧環境(PC用ビューワ、ブラウザ)で利用提供できるも の)
 - □非商用出版物
 - 大学紀要、学協会オンラインジャーナル、団体刊行物
 - ■図書、雑誌等に該当する非営利オンライン出版物 注)私立大学の機関リポジトリは提供義務からの除外となり得る。

⑤オンライン出版物収集の制度化

- □ 運用の想定 収集対象資料(続き)
 - □今後の収集について協議を継続するもの
 - 当館の閲覧環境で利用提供できないもの(例:電子書籍 アプリ、携帯向けコンテンツ等PC用ビューワ、ブラウザが ないもの)
 - 当館において保存のための複製ができないもの(DRM付きのもの)
 - □当面収集対象外とするもの
 - ■版面をそのまま電子化(PDF、画像)するもの
 - ■電子新聞ー頻繁にデータの更新、書き換えを行う部分があり、サービス全体として一つの出版物の形態をなすもの

6 震災アーカイブの推進

